

「第二期鳴門市教育振興計画（素案）」について

意見募集に対する結果公表

1 募集結果

募集期間	平成29年3月1日（水）から平成29年3月31日（金）	
意見等提出者数	1人	
提出件数 （提出方法内訳）	3件 （郵便 通、FAX 通、E-mail 通、直接持参 1通）	
意見等の反映状況	A 意見等を計画等に反映するもの・・・・・・・・・・	0件
	B 意見等が既に反映されているもの・・・・・・・・・・	1件
	C 意見等を今後の参考とするもの・・・・・・・・・・	2件
	D 意見等を反映する見込みのないもの・・・・・・・・・・	0件

2 意見等の分類

項 目	件 数
計画全体	0件
I 計画の策定にあたって	0件
II 計画策定の基本方針	0件
1 本市の現状と課題	0件
2 計画策定にあたっての考え方	1件
3 鳴門市における学校再編の基本方針	2件
III 小中学校の再編実施計画	0件
1 第一中学校区	0件
2 第二中学校区	0件
3 鳴門中学校区	0件
4 瀬戸中学校区	0件
5 大麻中学校区	0件
IV 公立幼稚園の再編実施計画について	0件

3 意見等と市の考え方

Ⅱの2「計画策定にあたっての考え方」に関する意見等と市の考え

No	意見等の概要	市の考え	反映
1	小規模の小学校、幼稚園は将来の再編は避けて通れないものであることを明記すべきであると思う。	<p>本計画では、よりよい教育環境を整えるため、本市における学校の適正規模、適正配置について定めています。この考え方に基づき、児童生徒の多様な活動や円滑な学校運営を維持するため、小規模校においては、複式学級編成の解消をめざすこととしています。</p> <p>また、幼稚園については、就学前教育・保育全体のあり方を考えていく中で、関係機関との調整を図りつつ別途検討していくこととしています。</p>	B

Ⅱの3「鳴門市における学校再編の基本方針」に関する意見等と市の考え

No	意見等の概要	市の考え	反映
1	1中学校1小学校の規模となった場合などに、幼小中一貫教育を推進すると記載されているが、私立の認定こども園が設置され、幼稚園へ行く子どもが減った場合、一貫教育の成果が出るか疑問である。	平成27年度からの子ども・子育て支援新制度では、就学前教育・保育と、小学校における教育との円滑な接続が重要視されています。本計画では教育委員会所管の幼小中の連携、一貫教育についての考え方を示していますが、認定子ども園と小学校の円滑な接続についても、市長部局と連携を図りながら取り組んでまいります。	C
2	公立幼稚園の再編計画は別途検討するとしながら、一方では幼小中一貫教育を推進するというのは軽々しいので、小中一貫教育を先に見据えた方が良いと思う。	<p>幼稚園と小学校の連携は「小1707h」の解消など、小学校への円滑な接続のために重要な課題であり、従来より積極的な取組を進めてきました。</p> <p>本市における一貫教育は、幼稚園を含めた教育の系統性を確保した、幼小中一貫教育とし、学力や生活規律の向上、指導上の問題解決などを図るため、各学校区の特色や地域性に応じた幼小中の連携強化を進めていきます。</p>	C